

JFAバーモントカップ第36回 全日本U-12フットサル選手権大会 苫小牧地区予選 開催要項

- 1 主旨 日頃の練習成果を競い、より高度なフットサル技術のレベル向上を目指す。またフットサルを通じて、各チームとふれあいを深めるとともにフットサルの楽しさを味わい、小学生年代の健全な心身の発育・発展を図ること。
- 2 主催 苫小牧地区サッカー協会
- 3 主管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
- 4 後援
- 5 期日 2026年2月21日（土）・22日（日）
- 6 会場 静内体育館・緑小学校体育館・拓勇小学校体育館
- 7 参加資格 (1) フットサルチームの場合
① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームできる。
② 前項のチームに所属する2014年4月2日以降に生まれた選手（5年生以下）であること。男女の性別は問わない。
③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
(2) サッカーチームの場合
① 公益財団法人日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録された単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
② 前項のチームに所属する2014年4月2日以降に生まれた選手（5年生以下）であること。男女の性別は問わない。
③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
(3) 選手及び役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチーム (4) 下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
① フットサルチームの場合 登録料 2000円
② サッカーチームの場合 登録料 4000円
(5) 複数チーム参加してある場合の条件を下記の通りとする。
① 本要項制定時点で5年生が6名以上所属するチームは2チームエントリーを認める。（本年度は別の大会を開催できないため複数チームのエントリーを認める。）
- 8 競技規則 本大会実施年度の（公財）日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。
(1) ピッチ

- ・ 大きさ：サイズは原則として32m×16m
 - ・ センターサークル：半径2.5m
 - ・ ペナルティーエリア四分円の半径：5m
 - ・ ペナルティーマーク：5m
 - ・ 第2ペナルティーマーク：8m
 - ・ 交代ゾーンの長さ：4m
 - ・ タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
- ・ フリーキック：4m
 - ・ コーナーキック：4m
 - ・ キックイン：4m
- (3) 使用球は、フットサル3号球ボールとする。
- (4) 競技者の数
- ・ 競技者の数：5名
 - ・ 交代要員の数：10名以内
 - ・ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (5) ベンチに入ることのできる人数は14名以内（交代要員10名、役員4名）
- (6) 試合時間は24分（各ピリオド12分間のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。）
- (7) 試合の勝者を決定する方法（競技時間以内に勝者が決定しない場合は
- ① 予選リーグにおいて勝者が決定しない時は、
 1. 得失点差
 2. 総得点
 3. PK方式方式（1チーム5名による5本ずつのキックで行う。決しない時は、一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。）により勝敗を決定する。
 - ② 準決勝・第3代表決定戦においては、6分間（前後半3分間）のランニングタイムの延長戦を行い、決定しない場合はPK方式（5人）により勝敗を決定する。
 - ③ 延長戦にはいる前のインターバルは5分間とする。
 - ④ PK方式方式に入る前のインターバルは1分間とする。
 - ⑤ タイムアウトは適用しない。
- ⑧ 感染予防の観点から、全試合ハーフタイムでのベンチの移動は行わず、各ピリオドで自チームが攻めるゴールを変えず、エンドを変えることはしない。

- 9 競技方法 (1) 1グループ3チームとして、6グループでリーグ戦（総当たり戦）を行う。
- (2) 決勝トーナメントは各ブロック1位と各ブロック2位のうち、上位2チームの上位8チームで行う。
- (3) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦
- # 懲罰 (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場出来ない。

- (2) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場出来ない。
- (3) 前項により出場停止処分受けたとき、予選ラウンド終了時点で警告の累積が1回のとき、または本大会終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式戦にて消化する。（第36回全日本U-12フットサル選手権大会北海道代表決定戦 道南ブロック予選出場チームはこの大会で行うこと。）ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の規律委員会が決定する。

帯同審判

- (1) 本大会は公認フットサル審判員を1名以上帯同させること。
- (2) 帯同審判員は、審判割り当てによりその業務にあたるものとす;
- (3) 帯同審判は、役員と兼ねることはできる。

競技者の用具 (1) ユニフォーム

- ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を各試合、正副ともに必ず携行すること
- ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに替わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。（但し、想定外の事態で緊急避難的に交代する場合はこの限りでは無い。）
- ④ シャツの前面、背面に選手番号をつけること。ショーツにも選手番号をつけることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番をつけることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番
- ⑥ ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けてる場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告拠出料などの経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑦ その他のユニフォームに関する事項については（公財）日本サッカー協会の「ユニフォーム規定」に則る。

(2) 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの（スパイクシューズ及び靴底が着色されたものは使用出来ない）。なお、チーム役員にも適用する。

(3) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

監督会議 監督会議は開催しない。

開会式 開会式は開催しない。

表彰および表彰式 表彰式は開催しない。

負傷および事故の責任

(1) 大会期間中の負傷および事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師および救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。

(2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入すること。

その他

(1) マッチコーディネイトミーティング

マッチコーディネイトミーティングは行わない。

ユニフォームコーディネイトは事前に配信するものとする。

(2) 電子選手証

各チームの登録選手は（公財）日本サッカー協会発行のフットサル電子登録証の写し、または選手証を試合会場に持参すること。いずれかが確認できない場合は試合に出場できない。

(3) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。

(4) 震災等、附則のしたいが発生した場合には、4種委員長・審判長・事業委員会にて協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

(5) 競技時間中、ウォーミングアップ時間を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。

(6) 優勝・準優勝・第3代表決定戦勝利チームは、2026年_月に_地区で開催される「第36回全日本U-12フットサル選手権大会北海道代表決定戦道南ブロック予選」の参加を義務づける。

(7) 選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ）については、チーム責任とする。

(8) 大会運営時、万が一要綱に不備が見つかった場合や解釈の曖昧さが有った場合等の不測の事態においては大会運営責任者（4種委員長）の判断で進行する事とする。

- (9) 例えば地区へ2チーム登録、Aチーム8人、Bチーム8人で登録したが当日までにAチームに欠員が出て4人になる。その時 Aチームを棄権とするよりBチームから1~2人移動させて参加可能の方が好ましいと考える。
よって大会当日にメンバー表提出、地区への申し込みに登録されている選手である事の確認のみでA,Bの属は問わない。
- (10) 大会期間中の様子が苫小牧地区サッカー協会公式SNS等に掲載される可能性があります。

新型コロナウィルス関連

- (1) 今年度は新型コロナウィルス感染拡大防止のために、(公財)北海道サッカー協会策定のガイドラインに沿って大会運営を行っていく。
- (2) 本協議会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
また、試合前に各チームの感染対策担当者とミーティングを実施する。
- (3) 別に定める「感染症対策マニュアル」を遵守すること。なお今後の行政による指示や対応によっては、本大会を中止する場合がある。
- (4) 中止となった場合は、協議の上対応とする。。
- (5) 大会参加チームは、新型コロナウィルス感染症予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者がでた場合は本大会運営委員会において協議のうえ対応する。
- (6) 観客に関しては感染状況に応じ、随時変更になる可能性があることを留意すること。

参加申込

参加チーム下記に期日までに参加申込書及びPPをメールにて送信すること。FAXによる送信も認める。また、申込後に返信される期日までに苫小牧地区サッカー協会のフットサル登録料を納入すること。選手の及び役員の追加・変更については

申込期日：2025年__月__日 16時まで

申込先：苫小牧地区サッカー協会

Mail tomakomai-fa@sunny.ocn.ne.jp
Fax 0144-82-9562

フィールドの大きさ



